



2026年3月5日

各 位

会 社 名 オンコリスバイオフーマ株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 浦田 泰生  
(コード番号:4588)  
問 合 せ 先 執 行 役 員 秦 耕 平  
(TEL.03-5472-1578)

## 当社ライセンス先の Transposon 社による ARPA-H アワードへの OBP-601 採択のお知らせ

当社がTransposon社へライセンスアウトしたLINE-1逆転写酵素阻害剤OBP-601 (TPN-101) に関して、同社が米国の医療先端研究計画局 (Advanced Research Projects Agency for Health : 以下「ARPA-H」) のPROSPR (Proactive Solutions for Prolonging Resilience) プログラムの下で、OBP-601を用いた健康寿命の延伸を目的とする研究開発に対し、最大2,200万ドルの研究開発支援 (以下「アワード」) を受けることが公表されましたので、お知らせいたします。なお、本アワードに基づく資金は、研究の進捗および費用発生に応じて、Transposon社ならびに参画する研究機関へ支払われる予定です。

LINE-1逆転写酵素阻害剤であるOBP-601は、ヒトゲノムにおけるLINE-1因子の活性化が細胞老化に寄与する可能性を示す新たな科学的知見に基づき、本プログラムの対象として選定されました。LINE-1は、ヒトにおいてゲノム内を複製・移動可能なレトロトランスポゾンです。その制御異常によりLINE-1 DNAが過剰に産生されると、自然免疫応答が誘導され、神経変性疾患、自己免疫疾患および加齢関連疾患の病態形成に関与すると考えられています。OBP-601は、LINE-1逆転写酵素を特異的に阻害することで、自然免疫の過剰活性化およびそれに伴う炎症・細胞老化プロセスを抑制することが期待されています。

Dennis Podlesak, Chairman and Chief Executive Officer of Transposonのコメント

“This award represents a transformative opportunity to advance TPN-101 into an entirely new therapeutic category that targets the underlying causes of age-related disease. With no FDA-approved therapies to extend healthspan, we believe TPN-101 has the potential to be at the forefront with a first-in-class approach to preserving function, preventing long-term disease, and extending the years of healthy life.”

(訳) 「本アワードは、OBP-601 (TPN-101) を加齢性疾患の根本原因を標的とする全く新しい治療カテゴリーへと発展させる、変革的な機会です。FDAが承認した健康寿命を延伸する治療法はありませんが、OBP-601 (TPN-101) は、機能維持・長期疾患の予防・健康寿命の延伸に貢献する画期的な新薬となる可能性があると考えています。」

また、ARPA-Hのプログラムマネージャーであり、PROSPRプログラムの創設者であるAndrew Brack氏は、加齢に伴う炎症の増加とLINE-1活性化との関連性に着目して、OBP-

601 (TPN-101) を対象として選定した旨をコメントしています。

本件による当社の2026年12月期業績への影響はありませんが、当社は、Transposon社がLINE-1阻害剤であるOBP-601を加齢に伴う疾患領域における画期的な新薬として開発を進めていることに大きく期待しています。

注：ARPA-Hについて

ARPA-Hは、2022年に設立されたインパクトの大きな生物医学・健康分野の研究を推進する米国の機関です。

以 上